



公益財団法人

京都府国際センター

Kyoto Prefectural International Center

NEWS

Vol. 91
2020年 春号

特集 京都府における日本語教育体制の整備について ～「地域日本語教育」に関する実態調査の結果から～

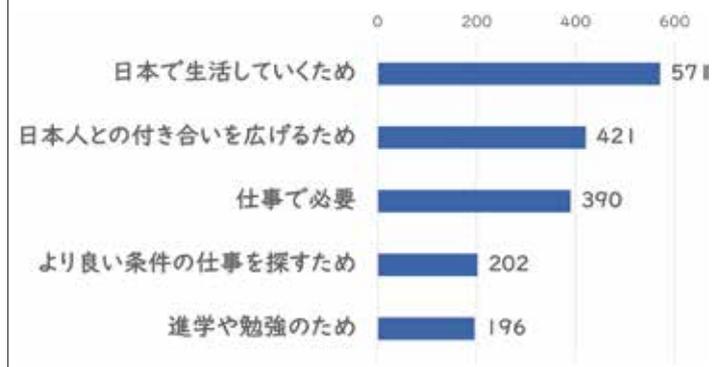
当センターでは、府内における外国人住民の方々に対する日本語教育の課題やニーズを明らかにするため、外国人住民、日本人住民、市町村、地域日本語教室、企業の皆さんにアンケート及びヒアリングによる実態調査を昨年(令和元年)7月から11月にわたり実施いたしました。多くの皆さんにはご多忙のところ、この調査にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

京都府ではこの調査結果を踏まえ、府域における日本語教育の指針となる「地域における日本語教育推進プラン」を昨年12月に策定し、今後5年間にわたって多様な施策を積極的に推進することとしています。当センターにおいても、これまで取り組んできたモデル日本語教室の開催、日本語学習支援ボランティアの養成、地域日本語教室の立ち上げ支援等を一層進めてまいります。

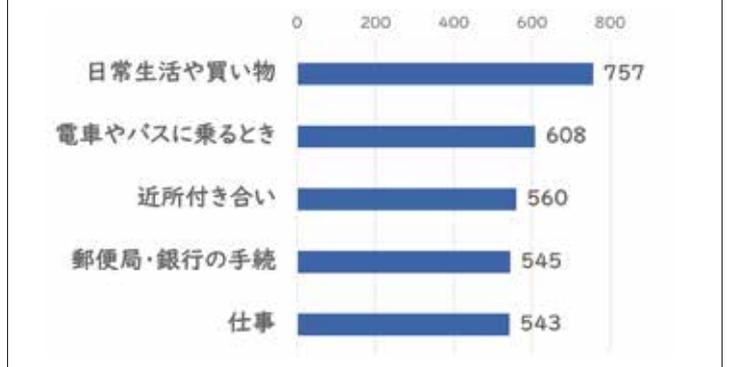
外国人住民アンケート結果

(回答数:875人、各設問の回答数をNで示す。*:複数回答含む)

■何のために日本語を学んでいますか (N=744人*) 「生活のため」が最も多い



■どのようなとき日本語を使いますか (N=868人*) 日常生活や移動などで使っている



■どうやって日本語を学んでいますか (N=746人*) 独学や日本語教室で学んでいる

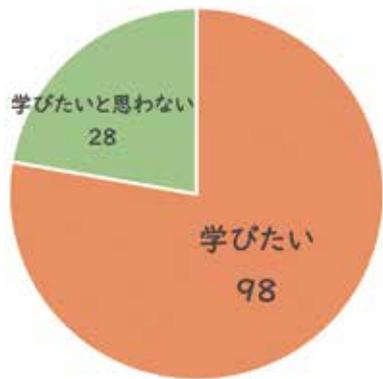
- | | | | |
|--------------------|------|------------|------|
| ①独学で(教科書やテレビ等) | 376人 | ④有料の日本語教室で | 265人 |
| ②独学で(インターネットやアプリ等) | 328人 | ⑤周りの会話を聞いて | 262人 |
| ③無料の日本語教室で | 287人 | | |



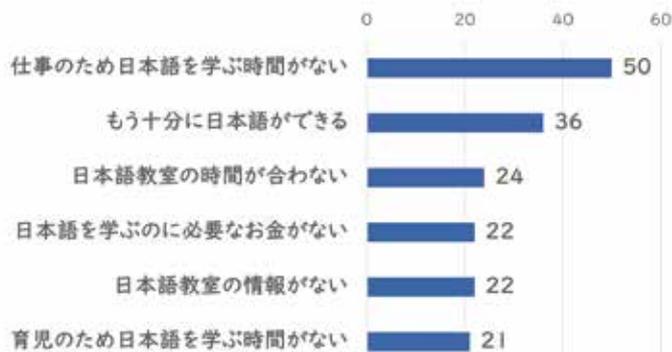
目次

- <特集> 京都府における日本語教育体制の整備について……………1～3
- <事業報告> 日本語支援ボランティア養成講座……………3
- JICA京都デスクの取り組み……………4
- 京都府国際センターからのお知らせ……………4

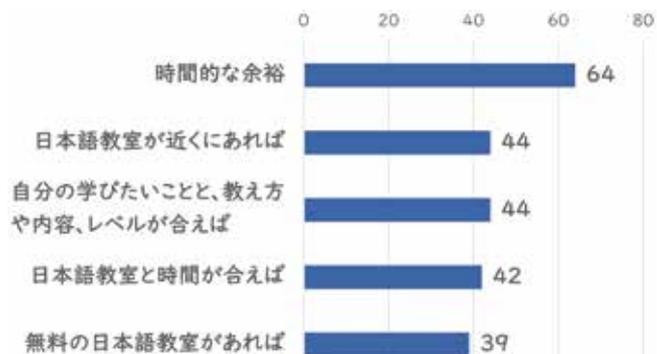
■(日本語を学んでいない方について)
日本語を学びたいですか (N=126人)
約8割の人が「学びたい」と思っている



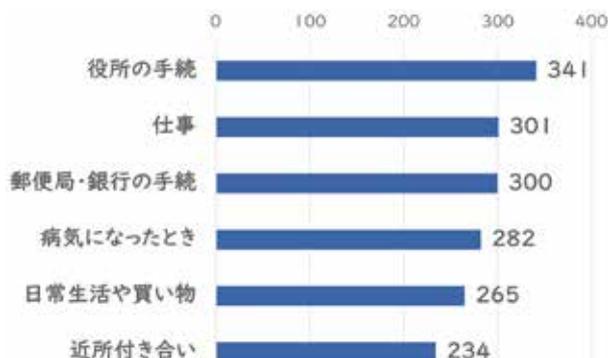
■現在学んでいないのはなぜですか (N=126人*)
「時間的余裕がない」が最も多い



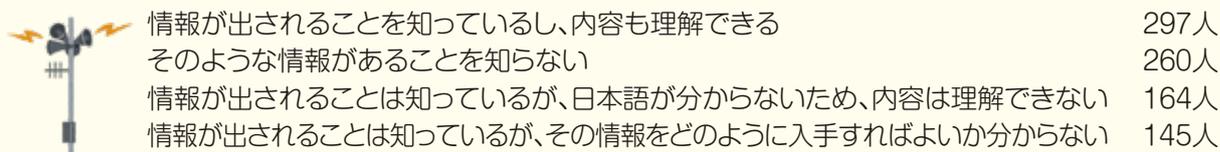
■どのような環境があれば、
日本語を学びたいですか (N=126人*)
時間、場所、内容などが求められている



■日本語が不自由なために、
最近1年間で困ったこと (N=868人*)
役所、仕事、諸手続きで困っている人が多い

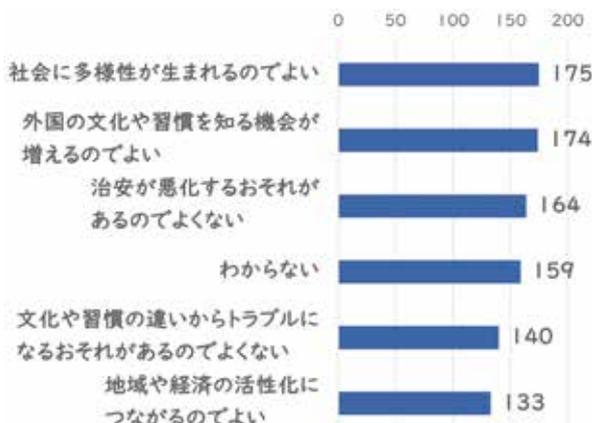


■自然災害が発生したとき、市町村から避難情報が出されることを知っていますか (N=866人)
外国人住民にとって、言葉の壁は災害時に孤立する原因にもなっている



日本人住民アンケート結果 (回答数:600人・複数回答)

■地域に外国人が増えることについてどう思いますか
好意的な意見が多い



■日本人と外国人がともに暮らし、
理解を深めるために必要だと思うこと
生活ルール、文化・習慣、宗教の違いへの理解が多い



京都府の「地域における日本語教育推進プラン」が策定されました

[プランの概要]

○策定の趣旨

・府内の外国人住民の一層の増加が見込まれるなか、外国人住民が地域社会の一員として活躍する多文化共生社会を実現していくためには、生活における日本語でのコミュニケーションがその一助となることから、国、市町村、企業、関係団体等と連携し、地域における日本語教育の体制の整備を図り、取組を進めていく。

○現状と課題

- ・日本語学習の場として、地域日本語教室が重要な役割を担っているが、10市町村は教室のない空白地域となっており、また、待機者の発生、不十分な学習スペース、開設日・時間帯の制約など十分な学習環境とは言えない。
- ・学習支援者のほとんどがボランティアであり、支援者の十分な数の確保、高齢化、活動補償などが課題となるほか、初学者への対応、支援者のスキル向上支援への取組が必要である。
- ・外国人住民の多くは日本語学習を希望しているが、時間や金銭の制約、情報不足等が学習できない理由となっており、こうした課題に対応することにより日本語の学習環境を整えることが必要である。

「地域における日本語教育推進プラン」(京都府国際課)の詳細はこちら→



○施策の基本方向

① 学習機会の確保

- 空白地域での日本語教室の新設
- 待機者解消
- 専門的指導機会の提供

具体的施策

- ・新たな日本語教室の開設支援
- ・地域日本語教育コーディネーターの配置
- ・初期日本語教育を専門に行う場の設置

② 学習環境の充実

- 学習支援者の確保と資質の向上
- 持続可能な教室運営への支援
- 学習者の拡大

具体的施策

- ・人材育成、学習支援者研修
- ・日本語教室のネットワーク化
- ・維持継続のためのしくみづくり
- ・情報提供支援

③ 地域との連携

- 多文化共生や地域の国際化・活性化の実現

具体的施策

- ・地域との交流促進
- ・生活支援、防災、通訳・翻訳ニーズへの対応
- ・企業・関係団体等との連携

事業報告

日本語支援ボランティア養成講座

府内には現在、16の市町に26の地域日本語教室があり、各地でボランティアの方々が外国人住民に対して日本語学習支援活動を行っています。

当センターでは、府内の日本語学習支援体制整備の一環として、これから日本語学習支援活動を始めようとする方を対象に「日本語支援ボランティア養成講座」を開催しています。

令和元年度は城陽市、久御山町、南丹市で地元自治体や国際化協会との協働で実施しました。

これまで実施した8地域では、講座の修了者を中心とした日本語教室が新たに開設され、また、各教室の支援者不足の解消にもつながっています。



これからも、市町村国際化協会等との協働により、日本語を学ぼうとする外国人住民が安心して学ぶことができる環境の整備に努めてまいります。

【講座内容の一例】

- ・京都府の外国人住民の現状
- ・日本語支援ボランティアの役割と学習支援活動の方法
- ・「やさしい日本語」のコミュニケーション
- ・日本語の構造（動詞、形容詞、名詞）
- ・学習支援活動の流れ
- ・外国人学習者との実習
- ・講座の振り返り

日本語学習支援活動を希望されている方は、お住まいの近くの日本語教室にお問い合わせください。

府内の日本語教室は当センターホームページの日本語教室マップで公開しています。教室マップは当センター窓口でも配布しています。日本語学習を希望されている外国人住民の方にもお知らせください。

京都にほんご教室マップ <https://www.kpic.or.jp/nihongo/kyoshitsumap.html>



JICA京都デスクでは、国際協力に関心のある方へ向けたJICA海外協力隊事業の推進や、「持続可能な開発目標(SDGs)」達成へ向けて、京都の自治体、NGO、企業など多様な方々と協力してSDGsの啓発等を行っています。その一部をご紹介します。

SDGsワークショップセミナー

2019年8月22日に、SDGsゴール12「つくる責任 つかう責任」をテーマにセミナーを実施し、SDGsに関心のある学生、教員の方、約50名の方々にご参加いただきました。

原料はオーガニックコットン100%、社内電力は風力発電100%で賄うなど、関わる全ての人の安全や、自然環境に最大限配慮してタオルをつくっておられるIKEUCHI ORGANIC株式会社 池内計司代表にご協力いただき、身近なファッションを通して、持続可能な社会をつくるために日常でできる実践について一緒に考えました。

その後、ここに参加した高校生が、IKEUCHI ORGANICの皆さんのご協力のもと、自らSDGsイベントを企画するなど、次への展開にも繋がっていきました。

JICA海外協力隊セミナー

2020年2月11日には、教育分野での国際協力に関心のある方を対象に、学校教員として開発途上で活動されたJICA海外協力隊経験者によるセミナーを実施しました。現任教員の方や、教育に関心のある学生、一般の方など約60名の方にご参加いただき、世界の教育への貢献についてや、この経験を日本の教育にどう生かすかなど、真剣な対話が行われていました。



SDGsワークショップセミナー



JICA海外協力隊セミナー

京都府国際センターからのお知らせ

●外国人住民のためのにほんご教室

- ①基礎クラス 2020年5月14日(木)~7月20日(月)
- ②会話クラス 2020年5月16日(土)~7月18日(土)
 - ・時間: 10:30~12:45
 - ・受講料: ①6,000円/20回(月・木曜)
 - ②4,000円/10回(土曜)



※新型コロナウイルスへの対応のため、中止又は延期の場合があります。
詳細→<https://www.kpic.or.jp/nihongo/kyoshitsu.html>

●ビザ相談

在籍資格の変更や更新について、行政書士による無料相談を実施しています。要予約。

- ・日時: 2020年4月26日、5月24日、6月28日
(毎月第4日曜日) 13:00~16:00



詳細→

<https://www.kpic.or.jp/ryugaku/soudan/visa.html>

~賛助会員を募集しています~

当センターが実施する様々な地域国際化事業や団体運営の財源に充てるため、趣旨にご賛同いただける皆さまを対象に賛助会員を募集しています。

【会費】個人会員/1口年額 3,000円(1口以上)
団体会員/1口年額 10,000円(1口以上)

【入会方法】・受付窓口で直接お申し込み
・電話、郵便、FAXで入会申込書をご請求の上、お申し込み

【特典】・当センター内スペース(有料)を会員料金でご利用いただけます。(団体会員)
・当センター各種講座等に優先してご参加いただけます。
・他団体との提携による特典をご用意しています。

パスポート写真撮影のご案内

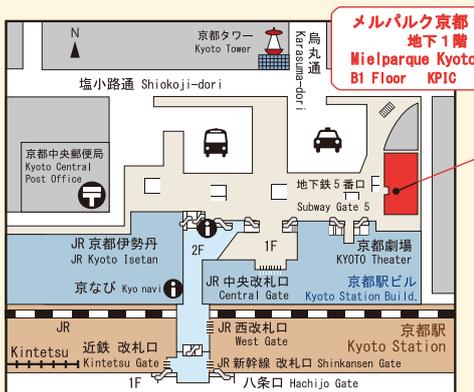
収益事業として、パスポート用の写真撮影を行っています。

【場所】京都駅ビル8階
(京都府旅券事務所の隣に併設)

【営業時間】月曜日~金曜日 9:00~16:30
(旅券申請受付時間と同じです)

【撮影料金(税込)】
2枚 1,320円/4枚 1,980円

【お問い合わせ】
TEL 075-342-5002



公益財団法人京都府国際センター

〒600-8216 京都市下京区東塩小路町676-13 メルパルク京都B1F(JR京都駅前 北口東側(京都劇場側))

Tel : 075-342-5000

Fax : 075-342-5050 E-mail: main@kpic.or.jp
<https://www.kpic.or.jp/>

facebook <https://www.facebook.com/kpic.kyoto>

開館時間/午前10時~午後6時

休館日/毎月第2・第4火曜日、祝日、年末年始(12/29~1/3)

公益財団法人京都府国際センター NEWS Spring 2020 春号 第91号
編集・発行/公益財団法人 京都府国際センター Kyoto Prefectural International Center

